学校番号	3003

令和２年度　工業科（建築都市工学系 建築システム専科）

教科	工業科	科目	建築法規	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	建築法規（実教出版）						
副教材等	建築基準法令集						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

建築基準法は、国民の生命、健康及び財産の保護を図り、公共の福祉の増進に資することを目的とし、建築物個々の安全と衛生に関する規定、都市の健全な環境を保全するための規定、建築生産に必要な手続きの規定を定めています。建築法規は、建築物を作るために必要不可欠のものであり、建築技術者の必須の要件です。したがって、建築士その他の資格の学科試験においても重要な位置を占めています。法律の条文はやや難解ですが、具体例に即して平易に学びます。

2　学習の到達目標

・建築基準法に関する知識を具体的な事例を通して理解・習得させ、建築物の計画・設計・施工などに活用する能力と態度を育てる。
・建築物の計画・設計・施工を行ううえで法令遵守のたいせつさを理解させ，技術者としての倫理観を育成する。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	建築物や都市生活の安全性、良好な都市環境を保つ観点などから、建築法規の必要性や諸問題などについて幅広く関心をもち、建築の計画や設計などの実践的な学習に役立てようとしている。	都市生活における安全や生活環境を取り巻く諸問題の解決をめざす建築法規のもつ役割について、自らの思考を深め、実際的な事例に対して適切に判断し、建築の計画や設計などに的確に表現できる。	建築の関連法規を包括的に学習し、建築物の構想の具現化に役立つ実践的な知識を身につけるとともに、建築物の設計や施工にかかわる実際的な業務に必要となる建築法規に関する知識を活用できる。	建築の関連法規を包括的に学習し、建築物の構想の具現化に役立つ実践的な知識を身につけるとともに、建築法規のもつ意義や効果を理解している。
評価方法	学習状況の観察 出席状況 ノートの記述 発表・発言 グループワークへの参加状況	学習状況の観察 定期考査 ノートの記述 発表・発言 グループワークへの参加状況	学習状況の観察 定期考査 ノートの記述 発表・発言 小テスト レポート課題	学習状況の観察 定期考査 ノートの記述 発表・発言 小テスト レポート課題

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期	建築法規のあらまし	建築法規の意義 法規の体系 建築基準法の構成 建築基準法の用語 面積の算定方法 高さと階数	○ ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○	 ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	a: 建築基準法の背景や諸問題に関心をもっている。 b: 建築基準法の基本事項について思考し、規定の適用を判断することができる。 c: 面積や高さの算定を建築の設計に活用できる。 d: 建築基準法に関する規定を理解している。	学習状況 出席状況 小テスト 定期考査 ノートの記述
	個々の建築物に関わる規定(単体規定)	一般構造の規定 (採光・換気、天井高さ・床高さ、階段など) 防火についての規定 (耐火と防火の用語、耐火建築物等とすべき特殊建築物、防火区画、内装制限など) 避難についての規定 (廊下の幅、直通階段の設置、避難階段など)	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	a: 一般構造や防火と避難に関する規定の背景や諸問題に関心をもち、法規の実際的な学習に役立てようとしている。 b: 一般構造や防火と避難に関する規定について思考し、事例に応じて規定の適用を判断することができる。 c: 一般構造や防火と避難の規制に関する事例に応じた算定能力を身につけ、建築の計画や設計に活用することができる。 d: 一般構造や防火と避難に関する規定と算定方法を実際的な事例に応じて理解している。	学習状況 出席状況 小テスト 定期考査 ノートの記述 レポート課題
後期	良好な都市環境をつくるための規定(集団規定)	土地利用 (都市計画区域の区分、用途地域の制限など) 道路と敷地 (道路の定義、接道義務、道路内の建築制限など) 密度に関する規定 (建ぺい率、容積率) 形態に関する規定 (絶対高さの制限、道路・隣地・北側の高さ制限、日影規制など) 防火地域等の規定	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	a: 集団規定の背景や諸問題に関心をもち、法規の実際的な学習に役立てようとしている。 b:集団規定について思考し、事例に応じて規定の適用を判断することができる。 c: 集団規定に関する事例に応じた算定能力を身につけ、建築の計画や設計に活用することができる。 d: 集団規定の内容を、実際的な事例に応じて理解している。	学習状況 出席状況 小テスト 定期考査 ノートの記述 レポート課題

後期	手続きなどの規定	手続きに関する機関 各種手続き （着工前、工事中、使用中） 違反建築物に対する措置	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	a: 建築確認などの手続きに関心をもち、法規の実際的な学習に役立てようとしている。 b: 建築の手続きについて思考し、事例に応じて規定の適用を判断することができる。 c: 建築の手続きに関する技能を身につけ、建築の計画や設計に活用することができる。 d: 建築の手続きの内容を、実際的な事例に応じて理解している。	学習状況 出席状況 小テスト 定期考査 ノートの記述 レポート課題

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
c:技能　　d:知識・理解